

瀬田川 河川管理レポート

平成26年度

平成27年3月

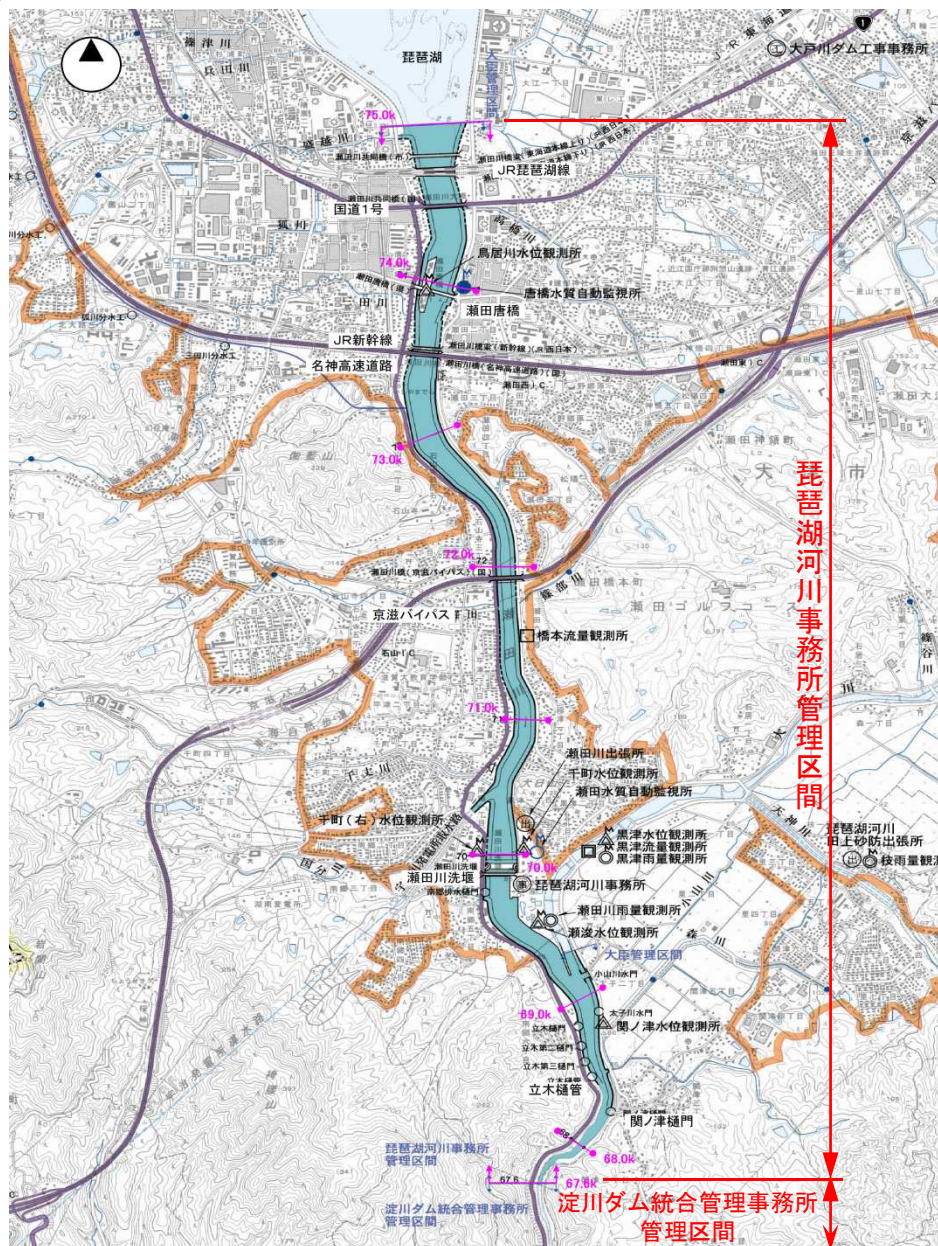
近畿地方整備局
琵琶湖河川事務所



< 目 次 >

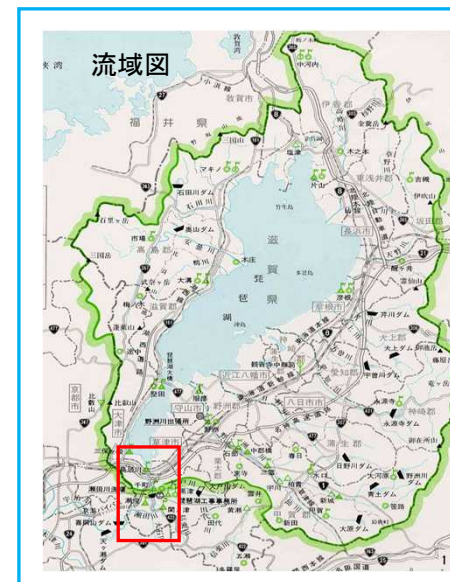
1. 瀬田川の概要	1
2. 維持管理の目標	2
3. 河川管理の概要	3
4. 平常時の河川管理	4
5. 出水時、地震時の河川管理	5
6. 平成26年度の実績結果	6
7. 平成26年度の実績結果、トピックス ...	7

1. 瀬田川の概要



- 瀬田川は滋賀県の南部に位置し、琵琶湖から流出する唯一の河川です。
- 琵琶湖からは、大津市内の平野部、瀬田川洗堰を南下し、山間部(鹿跳溪谷)を貫流して天ヶ瀬ダムへと流入しています。
- 管理区間内には、JR新幹線、JR琵琶湖線、名神高速道路、国道1号等の重要交通網が渡河しています。

- 管理区間延長 7.5km
- 流域面積 3,848km²



2. 維持管理の目標

■ 河川維持管理計画

河川維持管理計画とは・・・河川整備計画は、河川法(昭和39年法律第167号)第16条の2第1項に基づき、計画対象期間(概ね20～30年間)における河川整備の具体的な内容を定めることにより、河川整備の計画的な実施の基本となるもので、河川の特性や地域の実情等を踏まえ、河川の維持の目的、種類及びその施行箇所に関する事項を含むものです。

一方、概ね5年間を計画対象期間とする河川維持管理計画は、河川整備計画に沿って、河川維持管理を適切に実施するために必要となる具体的内容を定めるものです。

■ 瀬田川での目標

河道流下断面の確保

- 当該断面の流下能力を考慮して維持管理すべき一連の河道流下断面を設定。

管理区間最下流～洗堰間: 約900m³/s
(当該区間における現況流下能力)
洗堰～琵琶湖分界間: 1,200m³/s (計画高水流量)

河川区域等の適正な利用

- 治水、利水、環境の目的と合致して適正に利用されるよう、河川敷地の占用や不法行為等への対応に関する目標を設定。

1. ゴミの不法投棄の防止
2. 不法占用、不法係留等の防止

施設の機能維持

- 維持すべき施設の機能について、施設の種別等に応じて設定。

1. 河道(河床低下・洗掘の対策)
 - ・河床低下等が生じないように維持
2. 堤防
 - ・堤防の侵食、浸透に対する機能を維持
3. 護岸、根固め、床止め(落差工)
 - ・所要の機能が確保されるように維持
4. 水門、樋門、排水機場等
 - ・土木施設、機械設備、電気設備について、所要の機能が確保されるように維持
5. 瀬田川洗堰
 - ・正常に動作するように維持

3. 河川管理の概要

■ 平常時の河川管理

- 状態把握・・・測量、巡視、点検(除草)
- 維持管理対策・・・施設補修・更新、樹木伐採、維持掘削、塵芥処理、不法行為対応

■ 出水時の河川管理

- 情報収集、発信、提供・・・水文観測、気象情報、防災ヘリ、CCTV
- 状態把握・・・巡視
- 施設操作・・・樋門、水門、排水機場、陸閘等
- 緊急対応・・・災対車、緊急復旧
- 水防活動支援・・・情報提供、資機材支援

■ 地震時の河川管理

- 震度5弱以上を観測した場合・・・緊急巡視、施設点検
- 震度4以上を観測した場合・・・瀬田川洗堰の点検

■ 平成26年度の実績結果

- 情報表示板と流量観測施設の更新
- 河道内堆積土砂の撤去

■ 平成26年度のトピックス

- 案内標識の設置(瀬田川ぐるりさんぽ道)



▲ 洪水対応演習の実施状況

4. 平常時の河川管理

平常時の河川管理は、下記の点検等により、河川の状態把握を行っています。

その結果を分析、評価して必要な補修等の対策を実施しています。

■ 基本データの収集

- 雨量、水位観測
- 低水・高水流量観測
- 縦横断測量
- 水辺の国勢調査 他

■ 巡視、点検

- 河川巡視(2回/週)
- 船上巡視(1回/月)
- 目的別巡視(1回/年)
- 堤防点検(2回/年)
- 施設点検
 - ・樋門、水門等
 - ・電気通信施設
 - ・水文観測施設

■ 堤防点検等のための環境整備

- 堤防除草
- 塵芥処理 他

基本データの収集



▲ 高水流量観測の実施状況

環境整備



▲ 堤防除草の実施状況

巡視、点検



▲ 船上巡視の実施状況



▲ 瀬田川洗堰の点検状況

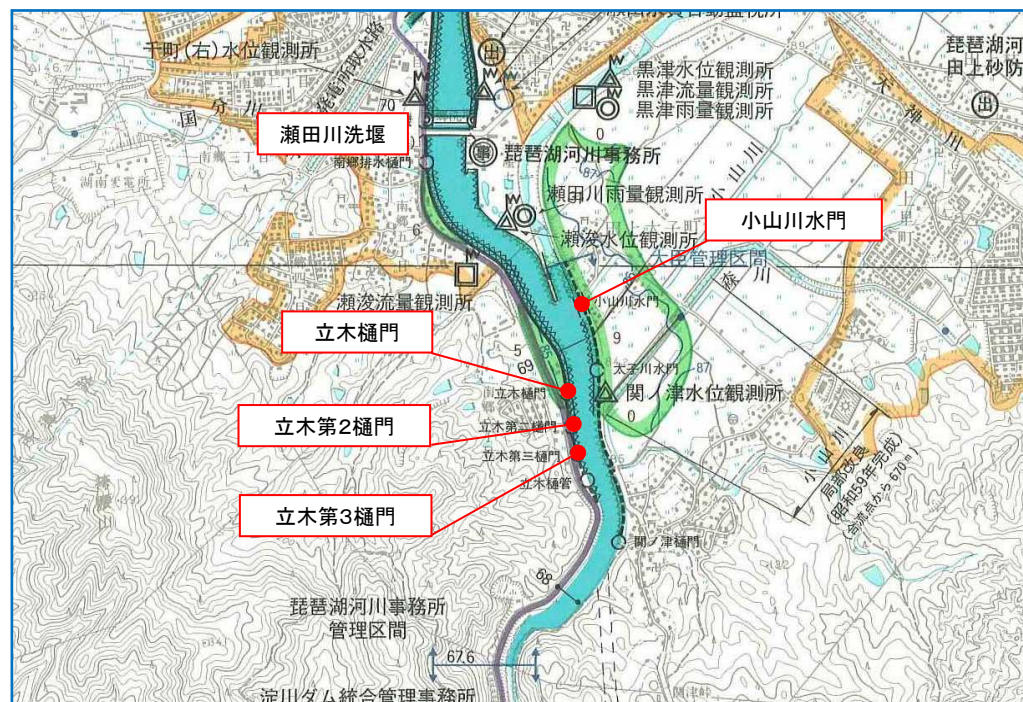


▲ 電気通信施設の点検状況

5. 出水時、地震時の河川管理

■ 出水時の河川管理

- 出水時、瀬田川洗堰全開放流時には、2班による緊急巡視を実施し、出水状況や施設の状態を確認しています。
- 小山川水門をはじめ4箇所の水門等で水位を監視し、ゲートの開閉操作を行っています。
- また、出水後の水位低下後は、異常がないか速やかに点検を実施し、必要に応じて応急対策を実施します。



■ 地震時の河川管理

- 震度5弱以上を観測した場合、2班による緊急巡視を実施し、河川管理施設の状態を確認します。
- また、河川管理施設に異常が無いかわりに速やかに点検を実施し、必要に応じて応急対策を実施します。



▲ 緊急巡視の実施状況



▲ ゲート操作の実地訓練状況

6. 平成26年度の取組結果

平成26年度の取組結果

■ 橋本情報表示板の更新

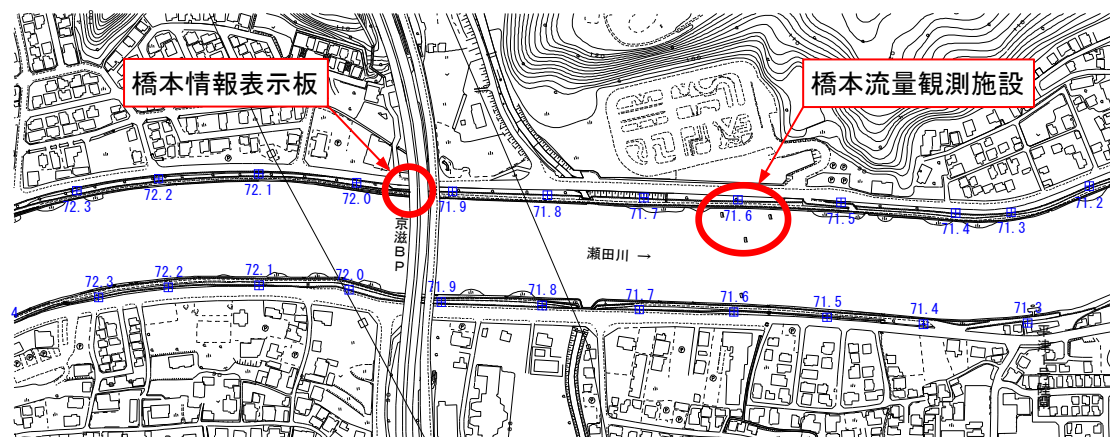
橋本情報表示板は、琵琶湖水位、瀬田川洗堰放流量、利用者への注意喚起等の情報提供を行っている設備です。

本設備は、設置から17年が経過しているため老朽化しており、また保守部品の調達が困難な現状であることから更新を行いました。

■ 橋本流量観測施設の更新

橋本流量観測所で観測している流量は、瀬田川洗堰を運用するために必要なデータです。

本施設の更新にあわせて、水位から流量を計算する機能を追加して、流量データの欠測対策を講じました。



▲ 橋本情報表示板(更新後)



▲ 橋本流量観測施設(更新作業状況)

7. 平成26年度の取組結果、トピックス

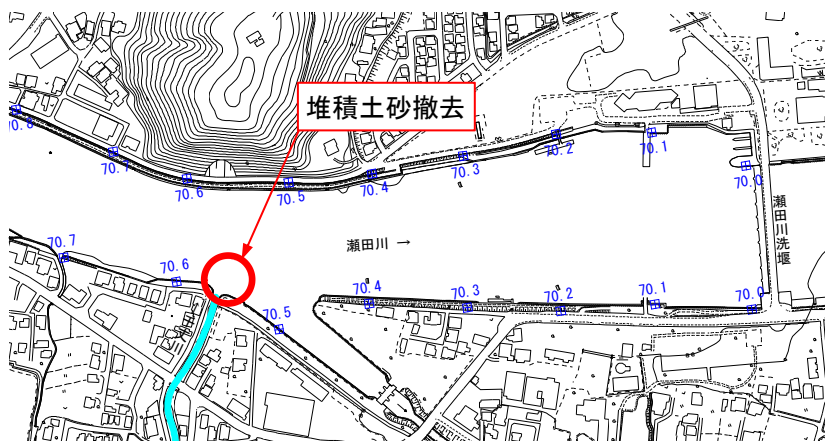
平成26年度の取組結果

■ 河道内堆積土砂の撤去

千丈川との合流付近において、平成25年の台風18号の出水により堆積した土砂を撤去しました。

これにより、流下断面の確保と船舶の安全な航行を図ります。

➤ 撤去土砂量=100m³



▲ 土砂撤去前の状況



▲ 土砂撤去後の状況

平成26年度のトピックス

■ 案内標識の設置

南郷ほたる橋の開通により、瀬田川散策路(愛称:瀬田川ぐるりさんぽ道)の整備が完了しました。

これに伴い、わかりやすい位置情報等の提供を目的に案内標識(サイン)を設置しました。

瀬田川ぐるりさんぽ道 散策路マップ



一周ぐるりと8.5km
瀬田川の水辺散策路